



第384回定例会で一般質問に立つ!



↑知事にAMH検査の導入を求めて再質問に立つ様子。

みなさんこんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑です。

6月15日から7月5日の日程で、第384回定例会が開催され、総額約66億円の補正予算2件の他23議案が可決され、無事閉会となりました。参議院選挙もありあわただしい議会でしたが、私自身は新聞に掲載されるなど充実した会期となりました。

さて、今議会では一般質問に立ちました。具体的なテーマは、右記に記載の通りです。今回は特に、本県における少子化対策の実効性やより実態に即した支援メニュー構築のためには、合計特殊出生率のみ

質問テーマ

1. 人口減少とどう向き合うか
(1) 本県の少子化対策について
(2) 4病院再編について
2. デジタル化の更なる推進に向けて

に着目するのではなく、出生動向基本調査に基づく「完結出生児数」を活用すべきではないかという提言をいたしました。また、より早い段階で結婚・出産を望む女性が現実的な人生設計を行えるよう、「AMH検査(卵巣予備能検査)」を健康診断でのオプション検査に導入することへの補助などを提言いたしました。

そして、子育て世代の皆様との意見交換で頂いた「子どもを育てやすい環境構築が必要」とのご意見などを踏まえ、まずは足元の県職員を対象に、育休に関する特別休暇の対象を父母のみならず祖父母や叔父叔母も取得できるように制度の見直しを求めました。

結果は、現状維持の答弁に終始したものや、検討を進めるといったものまでさまざまでした。現状維持の答弁についてははげげに提言し続けたいと思います。なお、当日の様子については県議会インターネット中継をご覧ください(<https://miyagi-pref.stream.jfit.co.jp/>)。

引き続き、県勢発展に全力疾走して参りますので、皆様より忌憚のないご意賜れば幸いです。

宮城県議会議員
議会運営委員会副委員長
地方デジタル化調査特別委員会副委員長
庄田圭佑

新聞に掲載されました!

県議会から 参院選期間中の一般質問

参院選と日程がぶつかり、関係者の気もそぞろになりがちな県議会6月定例会。各地に繰り出す候補者の動静を気にしつつ傍聴した4日間の一般質問は「議員のあるべき姿」を言詰め直すいい機会となった。若手・ベテランの2人が、その一端を示してくれた。

2期目の庄田圭佑氏(自民党・泉区)は、少子化問題で感情的な議論を張った。政策の実効性を測る新たな指標として、「子どもを育てる男女が生産力を持つ」「完結出生児数」の優位性を提案。「合計特殊出生率は学生など若い女性が多い宮城の実態にそわない」と疑問視した。

県側にかかわられる形に終わったが、建設的な論議のために問題提起し、独自の提案を示す果敢な姿勢に好感を持った。

県議会議長を務めた5期目の中島源陽氏(同)は壇上での質問で、

議員のあるべき姿 期待

県内外の視察で集めた現場の声をふんだんに織り交ぜた。「不登校と言われることに、周りに思われているか気になる。気仙沼市のフリースクールに通う子どもが話したという言葉を紹介し、不登校を問題行動と位置付ける国の姿勢を鋭く突いた。

他会派から称賛の声が飛んだ。県当局との論議では、生活者の声を拾う地道な取り組みの結果が随所にしみていた。出会った人々の顔を思い浮かべながら、質問原稿を書き上げたのではないかと想像した。

一方で、自己主張の開陳や重箱の隅をついたような議論も散見された。一般質問、来年秋には県議選が控える。県議58人それぞれが実りある議論に向け、井戸を磨き続ける姿を期待したい。

(報道部・樋渡慎弥)

採択された意見書

1. 水産業の危機を打開するための支援を求める意見書
2. シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となるための支援を求める意見書
3. 緊急事態に関する国会審議を求める意見書

お困りごとご相談下さい!

下記時間帯は事務所に詰めております。些細なことでも仕事をさせていただきますので、お困りごと等有ればお気軽にご相談下さい。

令和4年8月7日(日) 10時~12時

令和4年度3・4号補正予算主要事業概要

新型コロナウイルス感染症対策として、救急医療機関等への設備整備助成に要する経費のほか、新たに創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍に

おける原油価格・物価高騰対応分）などを活用し、物価高騰等に直面する事業者や生活者への支援策を予算化しています。

新型コロナウイルス感染症対策

※(新)は新規予算
(拡)は拡充予算

事業項目	予算額(千円)
救急医療機関等設備整備支援費	200,000
保育所等検査推進費(新)	54,190
私立幼稚園等検査推進費(新)	13,160
公立幼稚園検査推進費(新)	4,210
企業誘致活動費(新)	9,629
県産品インターネット販売支援費(拡)	83,625
食品製造業経営力強化支援費(新)	24,235
県産水産物販売促進支援費(拡)	25,600

デジタル技術の活用・その他

事業項目	予算額(千円)
行政手続デジタル化推進支援費(新)	20,000
観光交通機能強化費(新)	45,365
ワーケーション情報発信費(新)	30,000
スマート農業技術実装支援費(新)	176,710
議会情報化推進費(拡)	31,119
認知機能検査デジタル化推進費(新)	11,223
図書館・美術館所蔵品デジタル化推進費(新)	68,556
麦・大豆生産体制強化支援費(拡)	53,000

コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応

1 事業者支援

事業項目	予算額(千円)
貨物運送事業者支援費(新)	850,000
社会福祉施設等省エネルギー設備等導入支援費(新)	469,100
ものづくり企業省エネルギー設備等導入支援(新)	520,000
認証飲食店省エネルギー設備等導入支援費(新)	600,000
みやぎ米省エネルギー化支援費(新)	140,000
土地改良区再生可能エネルギー設備導入支援費(新)	171,500
農業水利施設省エネルギー化支援費(新)	179,000
特用リン酸施設燃油価格高騰対策費(新)	44,000

2 生活者支援

事業項目	予算額(千円)
フードバンク支援費(拡)	10,000
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金(拡)	35,000
子ども食堂運営支援費(新)	20,000
子育て世帯生活支援特別給付金	215,154
児童養護施設等食材価格高騰対策費(新)	2,113
私立学校給食食材価格高騰対策費(新)	150,000
県立学校給食食材価格高騰対策費(新)	19,500
緊急避難外国人生活支援費(新)	7,200

政務活動等レポート



近隣の皆様からご要望を受け、泉松陵高校敷地内に整備した保護者送迎時の滞留場所を視察。



7月1日に南中山に開設された、県内初の医療的ケア児等相談支援センター(ちるふあ)の視察。

コラム AMH 検査

この検査は、発育過程にある卵胞から分泌されるAMH（アンチミュラーリアンホルモン）値から卵巣内に残っている卵子数の目安を測定するものです。

AMHが表すのはあくまでも卵子の推定残数であり、卵子の質の良し悪しや妊娠率を測るものではありませんが、AMH値を早期に知ることは、結婚・出産を希望する女性が現実的なライフプランを設計する上で有用です。

宮城県政へひと言!!

FAX 050-3737-4421

宮城県議会議員

庄田圭佑事務所

〒981-3213

仙台市泉区南中山2-2-5

TEL: 022-342-1041

FAX: 050-3737-4421

庄田けいすけ

検索



皆様の声をお聞かせ下さい!

氏名

連絡先